



広報

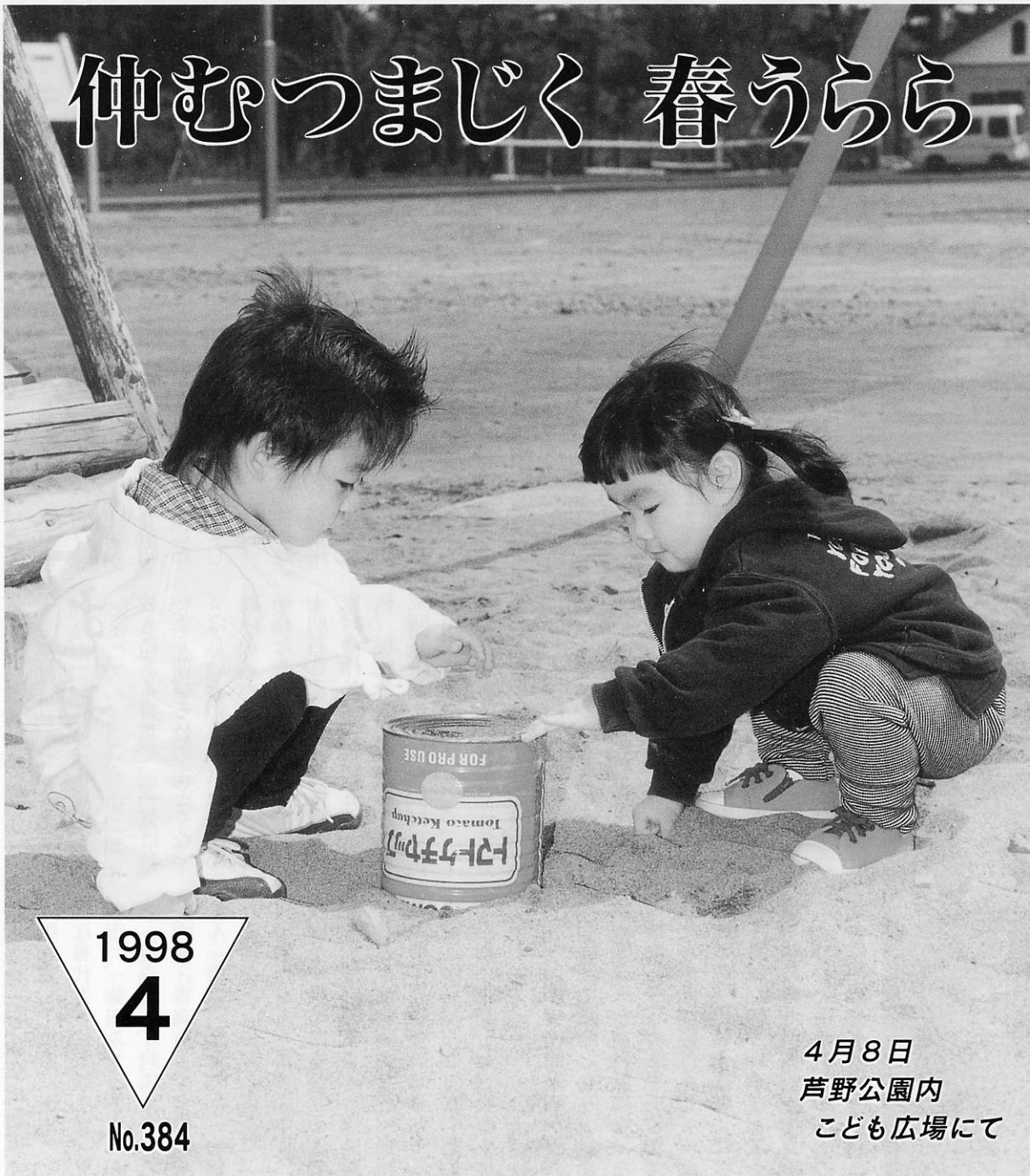
かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240

仲むつまじく 春うらら



1998

4

No.384

4月8日

芦野公園内

こども広場にて

郷土美術館完成



歓喜にむせぶ

金木小学校（校長＝蝦名昭逸）で、空き教室を利用した郷土美術館がオープンしました。

同校では、近年の児童数減少に伴う空き教室の有効利用を模索していたところ、一点の書をきっかけに子供たちの情操教育とふるさと学習のために「と美術館の設置を考えました。「一竹」（柳生流の

教えにある言葉で、一気に勢いよく伸びる竹のごとくなっ
てほしいという子供たちへの
願いが込められている」と書
かれたこの書は、弘前市の福
士朋石さん（誓願寺住職・書
家）の作品で、昭和五十六年
秋、現校舎の落成記念として
荒関勝康さん（又一製材所）
が同校に寄贈したもので、今
まで正面玄関に展示されてい
ました。また、福士さ
んは同校校門のデザイン
などにも携わった人
です。

▲改装した館内。ぜひご来館を——

「校内に立派なものがある。金木町内にもさまざまな芸術家がいる」と、昨年の春から先生方をはじめ、PTA関係者、歴代PTA会長の皆さんが設置許可の承諾や寄付金集め、展示作品の収集に苦勞してきました。

作品を寄贈（貸与）してくれたのは、同校

の大先輩方で大橋成行さん（版画家・千葉県八街市）、松江喜代寿さん（版画家・弘前市）、柴田みち子さん（画家・青森市）、対馬玲子子さん（画家・青森市）、大橋昭彦さん（書家・金木町）、加賀谷正治さん（書家・金木町）、吉田清作さん（書家・金木町）のほか、当町にゆかりのある画家・桜庭利弘さんや津島園子さん（油彩画）など、福士さんの作品を合わせると十人の十三作品と、この春卒業した児童の版画も七点展示されています。

「今回の美術館計画が友人たちの間で話題となり、私を含め娘三人がお世話になった母校に、少しでも恩返しできたなら」と、寄付をしていた女性の声。作品を寄贈した桜庭さんは「絵や音楽などで今は心の教育が必要。絵を見ることで心を落ち着かせ、ものごとに興味をもってもらいたい。子供たちは、我が校に美術館があることを誇りに思っているはず」と、快く寄贈したことを笑顔で話してくれました。

金木小学校



郷土美術館開設にあたって

金木小学校長 蝦名 昭逸

マスコミ等を通じて既に存じの事と思いますが、このたび金木小学校内に「郷土美術館」を開設することができました。

協賛会長の鳴海健吉さん、PTA会長の花田公仁さんはじめ、たくさんの方々のご苦とご寄付、そして励ましのお言葉のお陰です。本当にありがとうございました。

「子供に感動を与えたい」「本物を見てもらいたい」「美しいものを見て、美しいと感じる心を育てたい」と、これが私たちの願いです。も

のごとに熱中する心、没頭する心、それを育てたいのです。人間らしい、生き生きとした子供に育てたいのです。

アメリカの発明王トーマス・エジソンのことは誰でも知っています。エジソンは小学校のころ、あまりできが良くありませんでした。あんまり勉強ができませんので先生があき

れて、「明日から学校へ来なくていい」というほどでした。ところがエジソンは、自分で考えたことや関心のあることには、ものすごく熱中する人だったので。一晚、眠

らないで実験をしたことが何日もありました。ものごとに感動をする人だったので。仕事に没頭してしまい、自分の名前を呼ばれても気がつかないほどだったことは有名な話です。

私たちは、金木町内の子供たちに夢と希望、感動を与えようと、郷土美術館を設置しました。一昨年から案を練り、準備を進め、やっと開館にこぎつけたのです。たくさんの方から賛同を得、多額のご寄付を頂き、種々のアドバイ

スも頂きました。誠にありがとうございました。中には、貯金箱に貯めたお金を、そのまま開封もせず持ってきてくださったおばあちゃんもい

ました。感動と感激で一杯でした。子供たちは、生の作品に触れ、感動と喜びに胸を膨らませていきます。「わあー」と声を上げています。

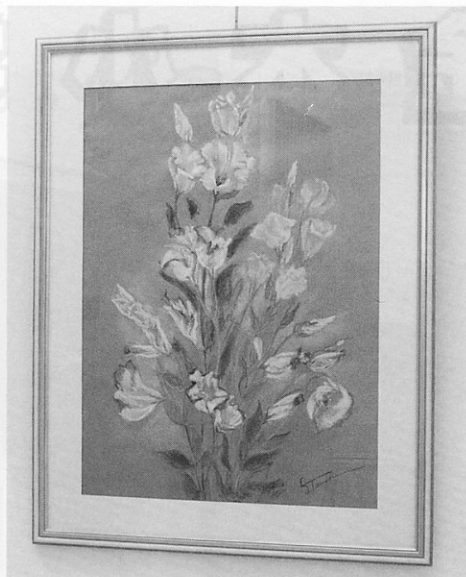
この美術館は、子供たちの手で運営する日本で唯一の美術館です。金木町の児童・生徒はもちろん、一般の皆様方にもご覧頂くことになっていきます。さらには、周辺市町村の誰にでも見て頂く予定です。

新しい作品も取り入れ、どんどん豊富に充実させていくつもりです。これによって、世界に通用する子供たちがどんどん生まれてくれることを願ってやみません。

金木町の皆さん、今後とも郷土美術館に対して、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のおいでを心からお待ちしています。

展示作品紹介

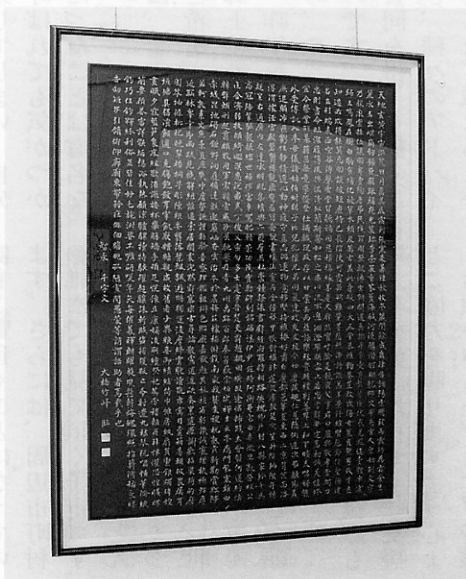
(敬称略)



▶ 作 津島園子



▶ 作 桜庭利弘



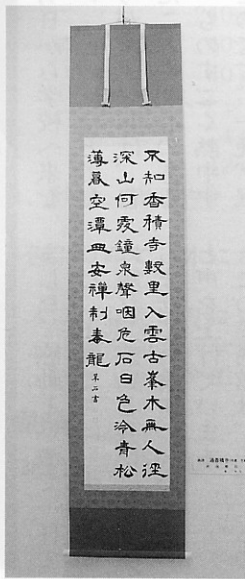
▶ 作 大橋竹峰(昭彦)

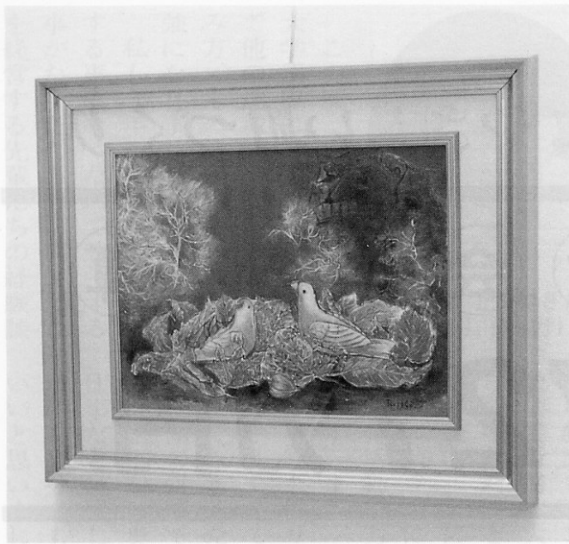


▶ 作 柴田みち子



▶ 作 吉田翠石(清作)

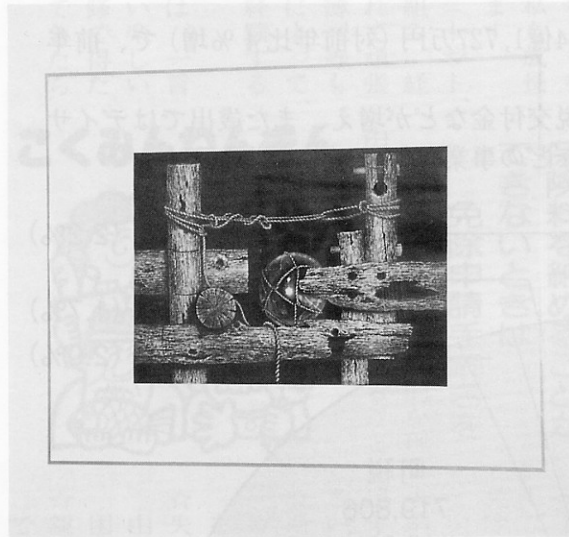




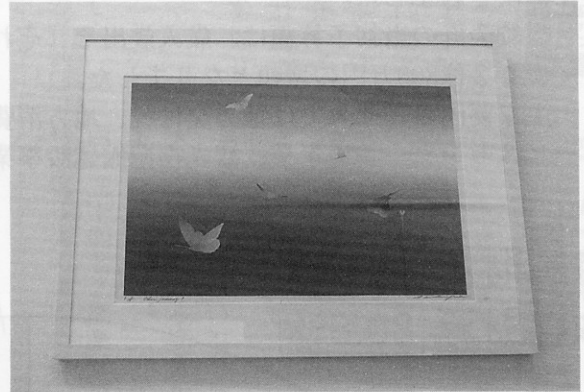
▲ ⑦ 对馬 玲子



▲ ⑧ (寄贈) 橋本 秋夫 (⑦ 桜庭利弘)



▲ ⑨ 松江 喜代寿



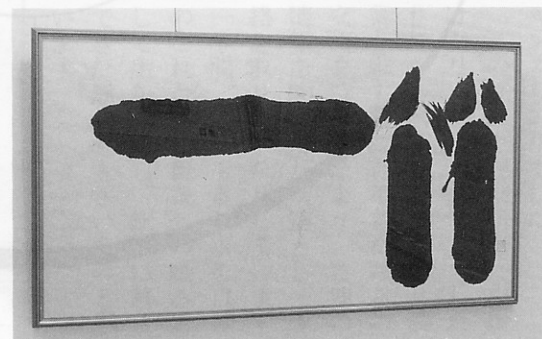
◀ ⑩ 大橋 成行



◀



▲ ⑪ 加賀谷 翠堂 (正治)



◀ ⑫ (寄贈) 荒関 勝康
(⑦ 福士朋石)

『観光立町を目指し、
高齢者にやさしい町づくり』

平成10年度 一 般 会 計 予 算

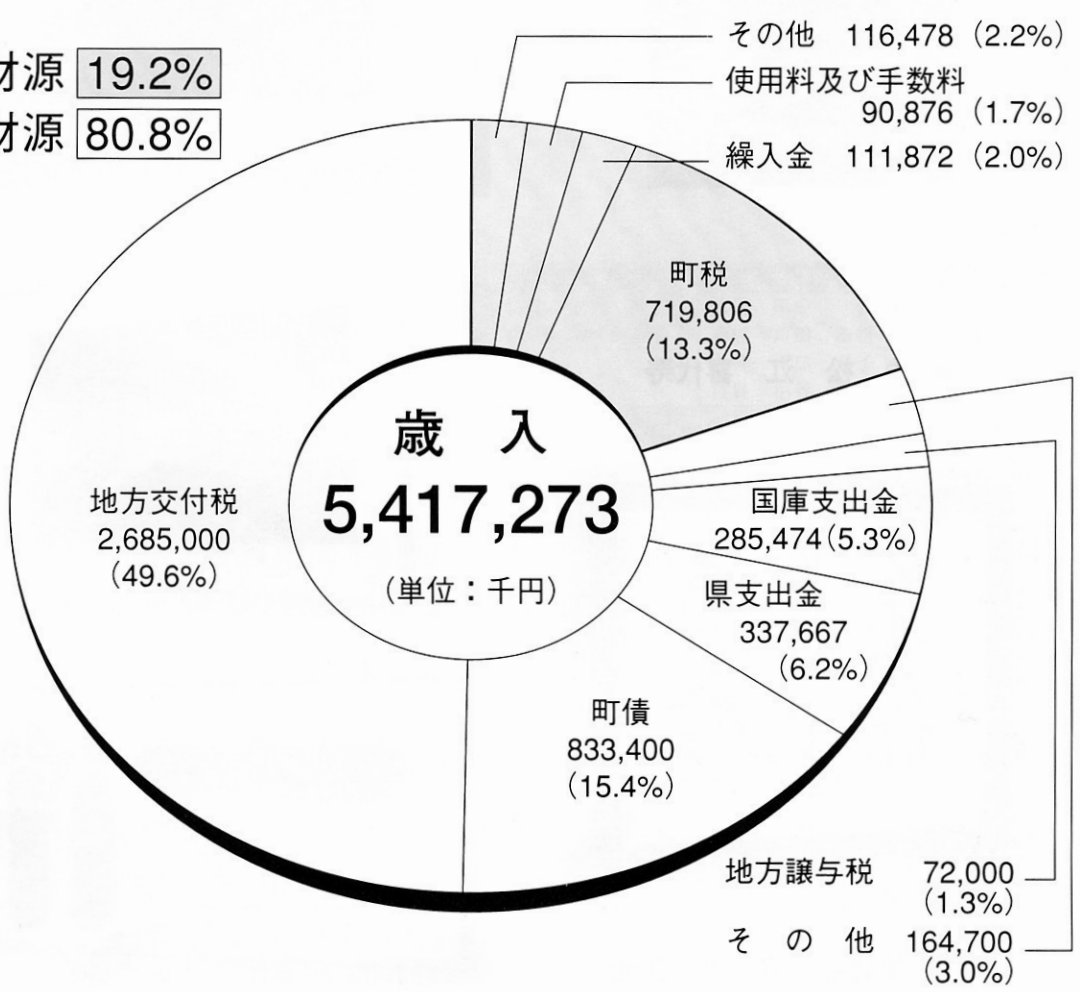
54億1,727万円

平成10年度一般会計、特別会計の各当初予算が、第163回金木町議会定例会（3月議会）で議決されました。

一般会計の当初予算額は、歳入歳出それぞれ54億1,727万円（対前年比4%増）で、前年度より2億800万円の増額となりました。

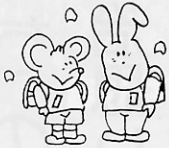


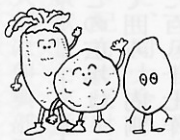




主な要因は、歳入では地方交付税、地方消費税交付金などが増え、また歳出ではデイサービスセンター整備事業、観光物産館建設事業などの事業費の増によるものです。

自主財源 19.2%
依存財源 80.8%



今年度の主な事業別

【単位：千円】、()は前年度当初予算

★民生費 	957,252 (717,215) ・デイサービスセンター 整備事業費 238,970 ・老人福祉センター 管理運営費 6,833 ・街灯整備事業 2,000 ・介護サービス体制整備事業 1,353
★衛生費 	790,136 (743,840) ・公立金木病院組合負担金 339,675 ・国保特別会計繰出金 107,000 ・水道事業特別会計 高料金対策繰出金 73,104 ・西北五環境整備事務組合 負担金 66,619
★総務費 	654,775 (643,704) ・地方バス路線維持費 6,493 ・交通安全対策事業 2,800 ・防災無線撤去及び新設工事費 1,035
★農林水産業費 	555,936 (600,168) ・団体営農道整備事業 144,966 ・施設野菜生産高度化 緊急対策事業 13,755 ・転作営農確立支援事業費 12,348 ・転作物振興対策費 6,197 ・花未来21花の郷づくり推進事業 5,659
★土木費 	478,731 (532,849) ・新ふるさとづくり 町道整備事業費 171,556 ・地方特定道路整備事業 110,961 ・除排雪業務委託料 41,500
★教育費 	458,305 (510,543) ・嘉瀬小学校大規模改造費 67,491 ・喜良市小学校大規模改造費 7,154 ・嘉瀬スキー場整備事業 4,500
★商工費 	340,636 (337,550) ・観光物産館建設事業費 188,683 ・イベント広場整備事業 26,124 ・芦野公園吊橋改修工事 5,500
★消防費 	309,348 (295,044) ・津軽北部広域事務組合 負担金 293,372
★その他	872,154 (827,687)

過去10年間の当初予算額

年度	当初予算額
元	32億1,868万円
2	37億1,317万円
3	38億 247万円
4	40億3,478万円
5	40億4,096万円
6	49億1,514万円
7	49億 825万円
8	54億6,242万円
9	52億 860万円
10	54億1,727万円

特別会計

(単位：千円)

国民健康保険特別会計	1,281,921
老人保健特別会計	1,074,011
農業集落排水事業特別会計	282
水道事業会計	313,030

町民一人当たり納める税額

(単位：円)

町民税	25,085
固定資産税	27,260
軽自動車税	1,389
町たばこ税	4,886
計	58,620

※1人当りの金額は、3月末現在の町の人口12,279人で計算したものです。

まちのどき(き)と

太宰治思い出

広場が完成



▲太宰の187作品名を紹介

太宰治思い出道路(金木小学校通り)整備事業の一環として、昨年十二月から建設していた「太宰治思い出広場」がこのほど完成しました。太宰が少年時代、明治高等小学校への通学路として、また疎開中に家族や友人たちと連れ立って、生家から芦野公園までの散策道として利用していた思い出深い道路沿いに建設されました。

この広場は、外壁を赤レンガで囲み、内側に太宰が執筆した百八十七作品名をセラミック板に刻んで取り付けています。現在、「走れメロス」「富嶽百景」などの作品は、国語の教科書に採用されるなど身近なものになっています。また、作品名の表記は旧仮名づかいとなっていますが、子供たちに配慮して全て新仮名づかいで振り仮名が記されています。

太宰作品に親しみながら、皆さんの憩いの場として利用してください。

福祉入門(ふれあい)教室

相手を思いやる 優しさ大切に

―地域で支え合(愛)える笑顔―

金木町社会福祉協議会(会長 角田正男)が三月二十三日、中央公民館で鯨ヶ沢町健康アドバイザーの相馬ふさふさんを講師に招いて、福祉入門(ふれあい)教室を開きました。

「地域で支え合(愛)える笑顔」と題して行われた講演で相馬さんは、会場を見渡し男性の参加者が多いことに触れ「これからの福祉活動、ボランティア活動には男性の力が必要である。人と接する時は、同じ目線で笑顔で接していかなければならない。また、病気は薬療法よりも食生活の改善が必要である」などと話し、「相手を思いやる優しさ、愛がなければこれらの活動はできない」と結びました。

同協議会では、ますます進む高齢化社会に向けて、これ



▲手際よく作業する皆さん

雪囲いを取り外す

―老人クラブ養寿会―

県立芦野公園内のこども広場や国道339号線沿いにある噴水周辺の雪囲いの取り外し作業を四月六日、金木老人クラブ養寿会(会長 木村不二男)会員約四十人が行いました。

好天に恵まれたこの日、園内を彩るツツジ、椿、さつきなどの庭木が春を待ちわびているかのように次々と姿を現しました。

芦野公園は、四月下旬から始まる桜まつりなど、大勢の観光客が足を運ぶ町の名所となっており、会員の皆さんは手際よく取り外し作業に汗を流していました。



▲相馬さんの講演に笑い声も!

福祉活動、ボランティア活動に関心があり参加した約百人の町民らは熱心に耳を傾けていました。